

【令和 7 年度における体育会館及び門真スポーツセンターの大規模工事に伴う休館にかかる評価方法について（案）】

○大規模工事に伴う休館期間

- ・体育会館：第 1 競技場休館（令和 7 年 4 月から令和 8 年 1 月まで）
- ・門真SC：メインアリーナ休館（令和 7 年 4 月から令和 7 年10月まで）
サブプール休館（令和 7 年 7 月から令和 8 年 3 月まで）

○各指標について

大阪府立体育会館等指定管理者管理運営評価基準（案）

<資料 5 抜粋>

施設名称：府立体育会館・門真スポーツセンター

評価項目		評価基準（内容）	備考（考え方）
I 提案の 履行 状況 に 関 する 項 目	施設の 効用を 最大限 発揮す るため の方策	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増をめざしたにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み (指標) ・利用者数 ・過去の利用者推移実績を踏まえた当該年度の状況分析及び今後の推移
		<従前> 「昨年度実績を踏まえて指定管理者が立てた今年度目標」と「今年度見込（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 <令和 7 年度> ・体育会館：「昨年度における第 1 競技場以外のフロアの利用者数」と「今年度における第 1 競技場以外のフロアの利用者数（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 ・門真SC：「昨年度におけるメインアリーナ及びサブプール以外のフロアの利用者数」と「今年度におけるメインアリーナ及びサブプール以外のフロアの利用者数（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。	
II 向 上 に 関 する サ ー ビ ス	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み (指標) ・利用者数、収支状況 ・過去の利用者推移実績を踏まえた当該年度の状況分析及び今後の推移	・利用者のニーズ把握は適切か、また、ニーズに即してさらなるサービス向上の取組みがなされているか。 ・利用、収支状況は向上しているか (指標) ・過去の利用者推移実績を踏まえた当該年度の状況分析及び今後の推移
		<従前> 「昨年度実績を踏まえて指定管理者が立てた今年度目標」と「今年度見込（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 <令和 7 年度> ・体育会館：「昨年度における第 1 競技場以外のフロアにおいて行われた自主事業参加者数及び収入状況」と「今年度における第 1 競技場以外のフロアにおいて行われた自主事業参加者数及び収入状況（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 ・門真SC：「昨年度におけるメインアリーナ及びサブプール以外のフロアにおいて行われた自主事業参加者数及び収入状況」と「今年度におけるメインアリーナ及びサブプール以外のフロアにおいて行われた自主事業参加者数及び収入状況（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。	
III 適 正 な 管 理 業 務 の 遂 行	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 (指標) ・収支計算書 ・過去の収支推移実績及び提案のあった収支計画に比べ、当該年度の状況分析	・事業収支実績状況は、収支計画に比して妥当か。 ・経費縮減等の取組み、効果はあがっているか。 (指標) ・過去の収支推移実績及び提案のあった収支計画に比べ、当該年度の状況分析
		<従前> 「プロポーザル時の収入・支出」と「今年度見込（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 <令和 7 年度> ・体育会館：「今年度事業計画書の収入・支出」と「今年度収支状況（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。 ・門真SC：「今年度事業計画書の収入・支出」と「今年度収支状況（4月～9月：実績、10月～3月：見込）」を比較。	

<参考>府立体育会館及び府立門真スポーツセンターのフロア別の利用人数（令和 6 年度）

○府立体育会館（単位：人）						
第 1 競技場	第 2 競技場	柔道場	剣道場	多目的ホール	会議室等	合計
485,328	100,693	19,448	21,288	28,169	34,971	689,897

○府立門真スポーツセンター（単位：人）					
メインアリーナ	サブアリーナ	サブプール	トレーニング室	会議室等	合計
329,949	96,471	93,923	39,444	13,041	572,828